

事態の命 そうかりあつかりてきてかきた

第5回家庭教育委学級「命の教育」が3月1日に行われました。茨城県助産師会の I・R 先生を講師にお迎えしてお母さんのおなかの中でどんなふうに大きくなったか、どのように生まれたかなどをお話や体験を通して学びました。筒の布をくぐったあとお母さんに「ぎゅっ」と抱きしめられる時の子どもたちの顔はとても幸せそうでした。お母さんと手と手を合わせたり、背中をトントンしたりとスキンシップをしました。お母さんから「うまれてきてくれてありがとう」の言葉をかけてもらった子どもたちは最後に小さい声でお母さんに伝えました「うまれてきてくれてありがとう」。お母さんだって子どもだったんですものね。子育ては大変な時も多いですが、少しの時間でも心が愛で満ちると幸せを感じるものです。そして気づきます。「命って大事だ」と。・・



















Y·K 先生の教育実習が終わりました。

2月7日(月)から3月1日(火)までの15日間にわたる 長い実習でした。

ー緒にバナナ鬼をしたり、転がしドッチボールをしたりして遊びました。また、マリンタワーまで一緒に歩きました。いつでも笑顔でお世話してくれました。さようなら、大学生にもどってもがんばってください。

3日(木) ひなまつりの会が開かれました。学校 関係者評価委員の方々にも参観いただきました。 はじめに、「なぜ、おひなさまをかざるの」のお話を 聞いた後、おひなさまにちなんだ仲間集めゲーム をしました。3人官女になったり、5人ばやしになっ たり、おだいりさまとおひなさまになったりと仲間集 めをして遊びました。とても盛り上がりました。